



岐大通
2011

today's guest

大分トリニータ

2010 J2第15位
J2通算対戦成績 : 1勝 0分 1敗
2010成績
第0節 10/03/14 大分 3-1岐阜
第2節 10/09/23 岐阜 2-0大分

2010J2

10シーズンの対戦成績

FC東京 (J1より降格)
京都 (J1より降格)
湘南 (J1より降格)

チーム	勝	分	敗	得点	失点
千葉	0	0	2	1	2
東京V	0	0	2	0	3
横浜FC	0	0	2	0	3
熊本	0	0	2	1	2
徳島	0	0	2	2	5
鳥栖	0	0	2	0	4
栃木	0	0	2	4	4
愛媛	0	0	2	1	1
草津	0	0	2	3	3
札幌	0	0	2	3	0
岐阜	0	0	2	3	3
大分	0	0	2	3	1
岡山	0	0	2	3	2
富山	0	0	2	4	4
北九州	0	0	2	2	0
鳥取	(JFLより昇格加盟)				

次回 HomeGame

第3節
FC東京戦

3/19(土) 13:00
@岐阜メモリアル
センター長良川競技場

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

FC岐阜大好き通信(岐大通)
3/6号
編集発行:『岐大通』製作委員会
今号の製作担当: ささたく & 吉田 鎔造

編集子より
ご愛顧いただきありがとうございます。
今シーズンも「全ホームゲーム」での
発行を目標にしますので、よろしくお
願い致します。

PSM岐阜 2-磐田

昨シーズンのJリーグカップ王者のジュビロ磐田を相手にしてのプレシーズンマッチ。2-4という派手なスコアで、J得点王の前田の鮮やかなボレーに、我らがショーゴのミドルシュート。派手な試合になったけれども、両チームとも守りがしばらくの課題になりそう。岐阜としてはCBを誰と誰が組むのか。いなくなった吉本の対人の強さをどう補うのか。また、攻撃に関しては、一昨年の両サイドがスピードを生かす攻撃が垣間見えたが詰めが甘いと感じさせる内容。PSMから一週間。割り切って、失点してもその分取り返せばいいと攻撃に重点を置いた練習をしたのか、4失点はとられ過ぎと守備に重点を置いた練習をしたのか。開幕戦は、そんな課題をどう克服するのが楽しみである。

(緑の小太鼓)
心配された雨もなく、好天に恵まれたメモリアルセンター。昨年4月4日以来の長良川競技場は装いも新た。中でも電光掲示板には動画が映り、リプレイが流された時にはどよめきも起きた。もちろんメドウでは味わえない、今までとは違う感覚を楽しみながら、これも改装されたカップ・ホルダー付の座席でビールを堪能した。リーグ戦が始まれば指定席だが、この日はフリー。これもPSMがゆえ。実に新鮮な気持ちでのんびりと観戦することができた。そして、久々のメインスタンドで確認できたのが、バクスタに合わせた手拍子とタオマフを振っての応援。メドウよりも多い人数で、スタジアムがまとまって応援できたら、きっと選手の力になる。選手たちを勇気付ける雰囲気が出る。試合の結果は2-4で敗戦。レギュラーのボランチが欠場し、移籍とルーキーで組んだ中盤の守備が不具合だった印象のある磐田とはいえ、シュート数では21-9だったとか。昨季のシュート数は一試合平均8本程度。それが3倍近くになったんだから、攻撃は見ていて楽しかった。木村新体制になって、一からのスタート。選手の張り切り具合がわかるようだったね。あとは枠内に飛ばすこと。外した選手は見習ってシュート練習に励むように(笑)。張り切っていた選手の中で、特にキレていたように思えたのが両SHの正吾と染矢。ももとのウリであるスピードを如何なく発揮できてたし、積極的な仕掛けもあった。ゴールを決めることはできなかったけれども、押谷はやっぱり期待感を持たせてくれた。故郷の人たちを前にイイとこ見せようと、肩に力が入りすぎたかな? 洗一のヘッドも惜しかった。優大とのレギュラー争いも熾烈になるだろう。新戦力のリントロウも楽しみだ。それにしても、万全でないとはいえ、磐田の、特に攻撃陣にはJ1のレベルを見せ付けられた。前半3点取るのに、シュートを3本か4本しか撃ってない。チャンスは必ずモノにする。そういう気持ちとテクニック。1点目なんかは「さすが、代表のエースストライカー」とうならされるボレーシュート。その直前の、DFから消える動き。マークを外してフリーになる所はすばらしい。眼福でした、前田さん。さて、いよいよ2011シーズンが開幕する。岐阜には足りない所がまだまだ多い。選手もクラブもサポーターも。だけど、それは育つ余地があるということでもある。「共に創る」のスローガンの元に、共に闘い、走り抜こうではありませんか! 今シーズンもよろしくお願ひします!! (ぐん、)

FC岐阜は長良川で磐田と対戦し2対4で敗戦。力の差は見せられたものの意地は見せた。開幕戦までもう少し。FC岐阜頑張れ!(ハマッチ)

決定力や守備力等、J1との力の差を感じた試合でした。結果だけ見ると完敗ですが、昨年より期待できる内容でした。今回のようなひたむきさがあれば、上位に食い込めるのではないかと思います。(プラウ@翠魂)

岐阜がJリーグに昇格してから毎年2月の最終日曜日の開催が恒例となったPSM。3年連続で対戦していた名古屋が今年はゼロックス杯やACL等により日程が調整できず開催が危ぶまれていましたが、フロントの頑張りによってジュビロ磐田との試合が設定できました。フロントの皆さんお疲れ様でした。そしてジュビロ磐田の皆さん、PSMを受けて頂き有難うございました。そして今回は新装なった長良川競技場での初めての試合。臨場感という点では当然メドウに劣りますが、他のスタジアムと比べて見難い訳じゃないし、現時点ではあれで良しかな? また、サンサンデッキでの長良川グルメも特別に目新しい物は有りませんでした。やっぱり安心のクオリティで大満足でした。試合について。岐阜が怒涛の攻勢をした最初の10分間。「こんな攻撃的な試合運びは岐阜じゃ無いみたい(自爆)」なんて思いましたが、あんなに攻めていても点が入らないところが岐阜らしいのかな(大苦笑)?

磐田の前半の3点は岐阜のミスも有りましたが、そういった所を見逃さない所がJ1クオリティなのかも知れません。前半は0対3で折り返し。後半もたまに絶好機を作りながらも中々ゴール出来ず、メインスタンドを重苦しい雰囲気漂い始めた時に、出ました嶋田選手のミドルシュート! 重苦しい雰囲気も見事に吹き飛ばしてくれました(嬉)。いや~あれは良い物を見せてもらいました。そしてその他にも菅選手のミドルシュート(ゴールにはならず)や押谷選手からのパスを上手く繋いでの染矢選手のゴール等盛り沢山の内容で攻撃面は良かったのではないのでしょうか? 少なくとも昨年は余り感じられず歯がゆい思いをした「シュートで終わろうとする意識と行動」が、今回の試合ではかなり感じられたと思います。

一方、ディフェンスについては猛省が求められるでしょう。と言うが吉本選手の抜けた穴はやはりとても大きかったと言うことなんじゃないかな? まあリーグ戦に向けての各選手の奮起と修正を求めていきましょう。今年も地元でプロスポーツチームが存在する利点を満喫したいと思います。喜怒哀楽の全部含めてね。最後に「やっぱ生でスポーツ観戦するのが良いよね~」(喜)(シユナ)

実はFC岐阜のプレシーズンマッチを観るのはこれが初めて。思ってたより磐田サポの皆さんのご来場が少なく、少し寂しかったかな。PSMだし相手はJなんだから結果は気にしません。にしても、DFの不安定ぶりは開幕1週間前にしては、ちょっと心配。特にセンターについては「今年は吉本がいない」ということを適切かつ入念なやり方でばくに教えてくれた。逆に攻撃は、磐田の中盤がガツガツ来なかったこともあるけど、やりやすそうだった。選手も試合後にそう思っていた。その手応えがシーズンインしても続くのか。続かなかった時にどう手を打つか。さあ、シーズンが始まる。愉しみだ。(吉田 鎔造)

キックオフ・パーティー @岐阜グランドホテル

2月23日。恒例のキックオフ・パーティーが岐阜グランドホテルで開催されました。岐阜市副市長やスポンサーのお歴々も集まる中、後援会員の端くれとしてチャッカリ参加（笑）。パーティーはグリーン・エンジェルスダンスを皮切りに、今西社長のムチャ振り（挨拶の冒頭でいきなり「エフッ、シィッ！」と叫んで唾然としている参加者に、「エフシィ、と言ったら「ギフッ」と応えてほしいんですが・・・」と要求。改めて仕切り直しとなる）で始まり、その後来賓の挨拶、選手の自己紹介、しばらくの歓談を経てお楽しみ抽選会そして中締め「FC岐阜コール」三唱でお開き。

岐阜のスタジアム・グルメでも好評なグランドホテルのカレーライスほか、様々な料理に舌鼓を打ちつつ、各テーブルに分かれた選手たちとの話も弾みました。自分らの席には背番号29・池上選手。髪をパッサリと短くした池上選手にキャンプの話などを伺いました。少し雨に降られたけれど、全体としても自分としても収穫の多いキャンプになりましたとのこと。去年はケガをしてしまったので、今年は全試合出場をめざしてガンバリますと決意も新たな様子。キャンプ地の高知県春野は、2006年に地域決勝の一次リーグを戦ったスタジアムでもあり、その時の選手のホテルは今回も同じ。自分もその試合を観戦し、ホテル内の温泉に浸かったこともあって当時のことが懐かしく思い出しました。選手の部屋は和室。「修学旅行みたいですね。」と言ったら、「そうですね。」と笑って答えてくれた池上選手でしたが、後になって考えてみると彼はかなり年が離れてます。自分らのころは和室が当たり前でしたが、池上選手はホテルのベッドだったかも？もしかしたら、修学旅行でもなくスキー研修とかだったり？自分の経験だけで話をしてはいけませんね。せいぜい、「枕投げはしませんでしたか？」くらいにしといた方がよかったです（苦笑）。午後7時から約2時間はアツという間、楽しいひと時を過ごすことができました。そうそう、パーティーに出ている飲み物はスポンサー様からの提供でした。いつもありがとうございます。今季も、勝利の後はキン・ビールで祝杯を！（ぐん、）

FC岐阜セカンド、今年は 東海リーグ1部での戦いです

昨シーズンの東海2部を見事に優勝で飾り、いよいよセカンド・チームは戦いの舞台を「東海1部」に移します。トップ・チームの胸を飾る『ぎふ清流国体』を翌年に控え、今年は“全国社会人大会”が岐阜県で開催。開催県から自動的に1チームが出場可能になります。その開催県枠を決める“全社”岐阜県予選は例年ですと4月にスタート。ゴールデン・ウィークあたりに決勝戦です。さて、2年前に初出場した時は2回戦で松本山雅（この大会を優勝して“地域決勝”に進んでJFL昇格を果たす）に敗れたFC岐阜セカンドはこの全国大会に出場することが出来るのか？そして、東海地区の強豪が集う東海1部での戦いは？セカンド・チームにもご期待ください！（吉田鑄造）

【編集部注】201東海リーグ1部参加チーム

Shizuoka 藤枝MF（静岡）
FC刈谷（愛知）
マルヤス工業（愛知）
FC鈴鹿ランポーレ（三重） 監督は高木成太（元・FC岐阜）
藤枝市役所（静岡）
矢崎バレンテ（静岡）
浜松大学FC（静岡）
FC岐阜セカンド（岐阜・東海リーグ2部より昇格）
春日井クラブ（愛知・東海リーグ2部より昇格）

シーズン開始前に、 ちょっと想うこと。 （編集人から一言）

昨シーズンが終わって、倉田監督（当時）のインタビューが地元のテレビ局やローカル・ニュースのコーナーで流された。その際に、倉田監督は来季（つまり今シーズン）に向けて力強く手応えを話してくれていた。実際のところ、倉田監督のチーム造りがうまくいっていたとはばくも思っていない。チーム内の競争がうまく機能していたとはお世辞にも言えないだろう（ケガでもないのに本職の右SBが出番を与えられず、本職以外の選手を無理矢理に右SBで使い続けていた）し、シーズン終盤になっても攻撃のカタチを作れずに「押谷、頼むぞ！」なサッカーになっていたのも実にその通り。でも、それは2年目になってクリアー出来ていくものだとぼくは思っていたし、倉田監督もそう思っていたからこそその手応えの表現だったのではないだろうか。しかし、年の瀬も押し迫った頃に発表になった監督交代。しかも、交代が明らかになったのはクラブが年末年始休暇に入ったその日の午後。ただの偶然、でしょうか。後任の木村新監督に期待するところは大きい。でも、クラブも公式サイトでニュース・リリースで認めていた通り、彼は『強化部長』として招かれた方だ。『クラブ強化』の設計通りの人事ではないことは、ここに記すまでもない、はずだ。新シーズンを迎えるにあたって、ぼくがどうしてもスッキリしないところがあるのは、このあたりに根っこがあるような気がする。もちろん、今シーズンのFC岐阜に期待しているし、応援する。でも、それと「疑問を持つ」というのは相反するものではない。監督交代を知ったFC岐阜サポーターの友人は「あ～、またイチから（作り直し）かあ……」と呟いた。もちろん、昨年の土台に上乗せして行くよりイチから作り直した方がいいのかもしれない。それはわからない。結果と内容が明らかにしてくれるだろう。（吉田鑄造）

ALADDIN

何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目（木ノ本公園東）

 Living in Woods

本庄工業株式会社
<http://www.honj-woodream.com/>

「いらっしやいませ」より「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休：日曜日（今日はお休みです）

